

東日本大震災および福島第一原発事故に伴う 湘南学園の地震・津波及び放射能汚染対策について

1. 地震・津波対策

1. 藤沢市における主な津波予測（藤沢市「防災計画地震対策篇」による）

(1) 藤沢市は、今後考えなければならない地震として、南関東地震（関東大震災の再来）をあげています。南関東地震は、相模トラフを震源とし、マグニチュード 7.9、震度 5 強～7、津波第 1 波到達時刻はほとんどの地域で地震発生直後としています。

藤沢市の津波来襲予想地点は、辻堂西海岸、鵜沼、片瀬、江の島の 4 地点で、第 1 波の到達時刻は 4～7 分程度で到達時間は早く、第 1 波の最大波高は、4 地点とも 1.5～3 m 弱と予測しています。

(2) 藤沢市は、さらに今後考えなければならない地震として、東海地震（震源は駿河トラフ、マグニチュード 8.0、震度 5 強）をあげています。この地震による津波の襲来地点は、南関東地震の際の 4 地点と同様で、第 1 波は 30 分後、最大波高は約 3 m 程度で市街地への浸水は想定されていません。

注) (1) (2) の津波予測は、神奈川県が平成 9～10 年度に実施した「神奈川県地震被害想定調査」をもとに、藤沢市が市内の被害想定結果をまとめたものです。

2. 湘南学園としての地震津波対策

(1) 鵜沼地域における最大津波は最大 3 m と予測されていますが、湘南学園では、東日本大震災の教訓をふまえ、予測されている最大津波の 3 倍を想定して避難方法を検討します。

(2) 湘南学園は、上記津波による浸水域（「藤沢市津波ハザードマップ」）には入っておりません。

(3) 湘南学園の標高は海拔 6.5m です。

(4) 避難場所 標高及び幼小中高の建物の高さ、予測されている最大津波の 3 倍、津波の到達時間が 4～7 分後と早いということを前提にして、避難場所を決めます。

幼稚園 2 階ホール（標高 11.7m）、小学校 3 階（同 12m）、中高 3 階（同 12m）

(5) 津波を想定した避難訓練を幼稚園・小学校では実施済みです。

幼稚園 5 月 16 日 幼稚園屋上（11.7m） また、アリーナ棟 3 階への避難も研究中。

小学校 5 月 26 日（3 階へ避難）

中高 7 月 5 日予定（3 階へ避難）

3. 防災グッズの購入・地震速報のキャッチ・通信手段等の確保等

幼稚園、小学校、中学高等学校の園児・児童・生徒及び教職員 合計約 2,000 名

(1) コンパクト・ブランケット 2000 枚、毛布 400 枚、非常用トイレ 10 セット（1000 回分）

(2) 食料・水 カロリーメイト 2000 個、水（500ml）2000 本

(3) 緊急地震速報機 5、小型トランシーバー 5、懐中電灯 30、テレビ 2 台

2. 放射能汚染対策

1. 湘南学園における放射能汚染対策の基本

園児・児童・生徒の安全を最優先にして対処します。

2. 放射線量の判断基準

年間被爆放射線量を暫定的に1ミリシーベルト以下(0.19マイクロシーベルト/時)とします。国際的にも藤沢市においてもこの指標を示しています。

<注>測定結果を0.19マイクロシーベルト/時より大きい小さいか比べて判断します。

3. 湘南学園の判断の根拠

(1) 当面、藤沢市<注1>及び鎌倉市<注2>の放射線量の測定結果を判断の根拠にしています。両市の測定結果は、上記判断基準からみて、現在のところ湘南学園として特別な対応が必要な状況にないと判断しております。

(2) したがって、幼小中高におきましては、通常の教育活動(幼稚園の水遊び・どろんこ遊び、小中学校のプール水泳指導、中高のグラウンドでの体育・部活等)をすすめております。

4. 放射能汚染に対する湘南学園の今後の対策について

(1) 湘南学園としての独自の放射能汚染に関する調査を実施

6月25日(土)に測定専門業者による学園全体の放射能汚染の測定を開始します。

測定結果が出揃うまでには、2週間ほどかかりますが、改めて発表いたします。

保護者の皆様にもお知らせいたします。

また、測定結果を検討し、必要があればすみやかに具体的な対策をとることにしております。

(2) 放射線量測定器(2台)の購入

湘南学園は、今後、継続的に調査を行うために、放射線量測定器を2台購入予定です。

(3) お子様の安全について万全を期し

今後も放射能汚染問題につきましては、学園独自の測定と各自治体等の情報入手を行い、お子様の安全について万全を期しながら教育活動をすすめてまいります。

<注1>藤沢市の放射線量等の測定結果(概要) <詳しくは、藤沢市HPをご覧ください。>

(1) 藤沢市の6月1日(水)の測定結果(概要)

藤沢市は市内の東西南北エリアと市域中部の小中学校5校を抽出し、測定専門業者によって放射線量、土壌及びプール水の放射能濃度調査の3つを測定しました。

① 放射線量(グラウンド中央部) 5校の測定結果は、0.11~0.13マイクロシーベルト/時で、年間被爆線量0.19マイクロシーベルト/時以下となっていて、問題ありませんでした。

② 土壌の放射能濃度(表土5cmを採取測定。湘洋中学校を含む)

どの学校からもヨウ素131、セシウム134、セシウム137は「不検出」で、問題ありませんでした。

③ プール水の放射能濃度 プールの水入れ替え前(鵜洋小学校を含む)及び入れ替え後いずれも、

ヨウ素131、セシウム134、セシウム137は「不検出」で、問題ありませんでした。

(2) 藤沢市の6月4日(土)の放射線量の測定結果(概要)

- ①市内小学校32校(地上50cmで測定) 0.05~0.11 マイクロシーベルト/時
 - ②市内中学校18校(地上1mで測定) 0.06~0.12 マイクロシーベルト/時
- いずれも0.19 マイクロシーベルト/時以下で、問題ありませんでした。

<注2>鎌倉市の放射線量等の測定結果(概要) <詳しくは、鎌倉市HPをご覧ください。>

- (1) 運動場の地表10cm(6月17日) 市立小学校8校 0.05~0.068 マイクロシーベルト/時
0.19 マイクロシーベルト/時以下で、問題ありませんでした。

- (2) プール 市内9小中学校(6月16日)

ヨウ素131、セシウム134、セシウム137は「不検出」で、問題ありませんでした。

3. 東日本大震災被災地への義援金のとりくみ(お礼とお願い)

1. 義捐金200万円突破(第1次受付分)

5月31日現在、2,002,045円が寄せられました。ご協力に心から感謝いたします。

2. 義援金第2次受付開始(11月30日まで)

被災地の状況の深刻さは続いておりますことから、第2次受付を6月1日~11月30日まで行いますので、引き続きご協力をお願いいたします。

この間、中高生による東日本大震災チャリティ・コンサートが6月18日(土)中高ホールなどで行われ、20万5千円もの義援金が寄せられました。息の長い支援を続けたいと思います。

詳しくは湘南学園HPをご参照ください。

以上